

令和5年度

第1回 木更津市文化財保護審議会

日 時 令和5年7月28日（金）午前10時から

場 所 木更津市役所 朝日庁舎 会議室E

# 会 議 次 第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 会議内容

## 審議事項

第1号 木更津市指定文化財の新指定候補の選定について

## 報告事項

第1号 千葉県指定史跡「金鈴塚古墳」の整備工事について

第2号 木更津市指定文化財「真武根陣屋遺址」顕彰碑の再建に  
ついて

## その他

5. 閉 会

## 議案第 1 号 木更津市指定文化財の新指定候補の選定について

### マミヤク遺跡出土子持<sup>こもちまがたま</sup>勾玉

子持勾玉は、大型の親玉の周囲に小さい勾玉を付加した特異な形態で、古墳時代中期から後期（5～6世紀）の祭祀に関連する遺物と考えられています。

これまでに全国で 670 点以上が出土していますが、このうち千葉県内では 21 点、君津地域ではマミヤク遺跡のほか、袖ヶ浦市の滝の口向台遺跡、君津市の戸崎 53 号墳で各 1 点が知られています。

マミヤク遺跡は、木更津市小浜字マミヤク、現在の港南台一丁目付近に所在した弥生時代から古墳時代の遺跡です。小浜地区土地区画整理事業に伴い、昭和 60 年度に、財団法人君津郡市文化財センターにより発掘調査（調査面積 12,000 m<sup>2</sup>）が行われました。

この調査により、弥生時代後期から古墳時代後期の集落跡の存在が明らかになり、子持勾玉に関連する古墳時代中期では、竪穴住居 41 軒・祭祀遺構 2 か所が明らかになっています。

子持勾玉は、下記の 1 号祭祀遺構の中心部より北東へ約 25m、2 号祭祀遺構より東へ約 60m 離れた地点の表土中より単独で出土し、祭祀遺構との関連が想定されます。

子持勾玉の各部の大きさは、長さ 9.3cm、中央部幅 3.5cm、最大厚 3.8cm、重さ 269.6g です。

1 号祭祀遺構は、集落の東側に位置します。多数の石製模造品 2,270 点（鏡 1・有孔円板 12・勾玉 4・剣形 6・臼玉 2247）、鉄製模造品 15、200 点以上の土器などからなる多量の遺物の集積で、集落全体を見渡すことのできる場所に位置します。集落全体の祭祀に係る遺構であると考えられます。

2 号祭祀遺構は、集落の西側に位置します。石製模造品 16 点（勾玉 1・有孔円板 2・臼玉 13）、35 点の土器が出土しています。遺物の特徴が 1 号遺構と類似することから、同時期の遺構と考えられます。

現在は、木更津市郷土博物館金のすずで展示しています。

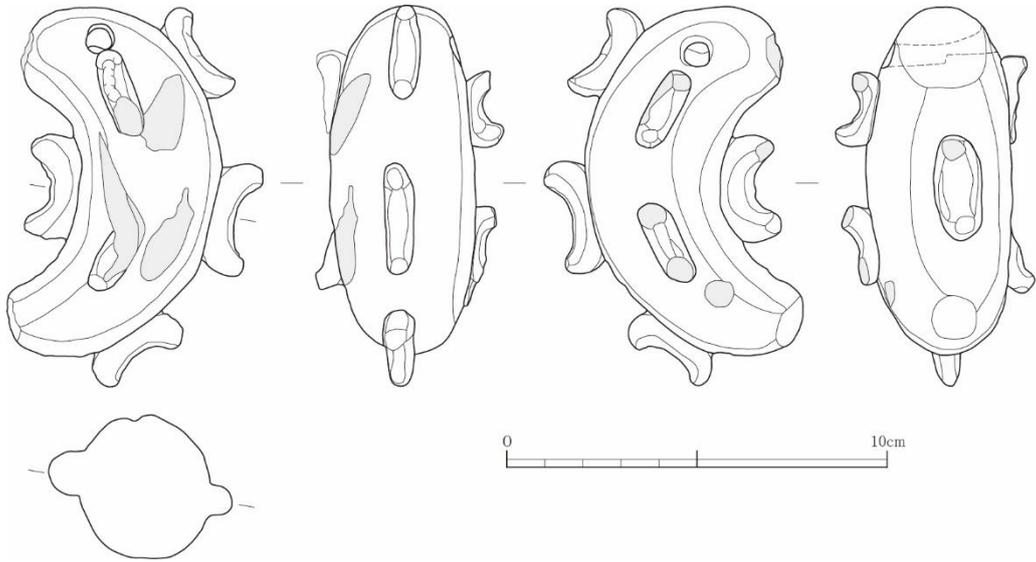
#### 関連文献

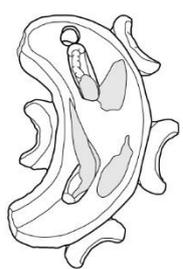
小沢 洋 1989 『小浜遺跡群Ⅱ マミヤク遺跡』 財団法人 君津郡市文化財センター



マミヤク遺跡出土の子持勾玉

子持勾玉実測図





0 10cm

子持勾玉



1号祭祀遺構

## マミヤク遺跡子持勾玉出土地点

### 報告第1号 千葉県指定史跡「金鈴塚古墳」の整備工事について

金鈴塚古墳では、昨年度から本年度にかけて、金鈴塚古墳保護事業として石室・墳丘の継続的な補修工事を実施しています。

本年度は6月に、石室内の箱型石棺（重要文化財）の劣化を防止するため、石室門扉にUV加工を施した透明なアクリル板を付設しました。また、現在は、石室の階段に見学者用の手摺を設置する工事を実施しています。

さらに、引き続き、見学者用の駐車場に案内板を設置する工事、駐車場用地と隣地との境界ブロック塀の崩落防止工事を予定しています。



石室入口のステンレス製門扉



門扉の内側にUV加工の亚克力板を金具で固定

## 報告第2号 木更津市指定文化財「真武根陣屋遺址」顕彰碑の再建について

令和元年9月9日発生の台風15号により折損した、市指定文化財「真武根陣屋遺址」の顕彰碑につきましては、長らく再建が待たれていましたが、本年4月、旧請西藩 林忠崇公ゆかりの現当主の方より、石碑の寄附がありました。

本年度、解説板に多言語解説に対応したQRコードを添付する予定です。



台風15号の強風により、石碑が基部より折損した。



再建された顕彰碑

幅255cm、高136cm（台座まで198cm）、厚21cm  
神奈川県足柄郡真鶴町産 根府川石



石碑と指定文化財解説板